

事業評価シート（平成23年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	中央公民館設備改修事業		
事業担当	社会教育部 社会教育課		
事業種類	●ハード ○ソフト		
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'03	③(利便性) 誰もが快適に利用できるよう、公共施設などの利便性を高める	
	'01	1 安全で快適に利用できる公共施設の充実を図る	
根拠法令等	社会教育法第21条		
対象・受益者	市民	事業期間	平成22年度 ~ 平成23年度
委託、協働	【委託: <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】【協働: _____】		
目的・目標		事業の概要	
改修された中央公民館ホール舞台照明設備により、円滑な舞台運営や演出効果の向上が図られ、施設利用者の満足度が高まっています。		安心安全な施設管理・運営を行うとともに、利用者の満足度を高めるため、老朽化した中央公民館ホールの舞台照明装置を改修します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標					
	実績					
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	中央公民館舞台照明設備整備進捗率			単位	%
	説明・算定式	平成23年度を100%とした事業進捗率。H22:調光設備工事55%、H23:負荷設備工事、移動器具更新45% (平成22年度から23年度まで)				
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		55	100		
	実績		33	100		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	①: 予定どおり					
	遅れている理由					
平成23年度 の検証結果						
平成23年度2月からホールの利用を休止し、ホール改修工事を行いました。機器の納品が遅れたことから、当初計画より遅れたものの、改修工事を完了しました。						
平成23年度 の検証結果	A: 成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	社会教育法等により、地方公共団体は社会教育施設の整備に努める必要があります。中央公民館のホールは利用率も高く、市民の文化向上に大きな役割を果たしていることから、必要性は高いものがあります。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	中央公民館ホールの舞台照明設備の改修により、出演者、観客の双方へ質の高い文化・芸術活動を提供することにつながります。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	施設の適切な維持管理により、設備の故障による影響がなくなるとともに、円滑な舞台運営が可能になり、さら出演者及び利用者の安全確保にもつながります。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	設備の更新により、修繕経費の削減が図られます。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 改修に伴ってホール等の利用を休止することから、休止に対する利用者への周知徹底と理解を図るとともに、計画的な工事の推進により、利用上の支障を少しでも少なくする必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 予算額
事業内容			ホール舞台照明装置の改修	ホール舞台照明装置の改修	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	36,000	131,000	0
	その他 特財	0	0	27,000	0
	一般財源	0	12,000	17,755	0
事業費 (A)		0	48,000	175,755	0
執行率 (%)		—	30.77	100.00	
内訳	職員 (人)	0.00	0.17	0.17	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	1,405	1,378	0
フルコスト (A+B)		0	49,405	177,133	0

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成25年度の実行方針
課長コメント